

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

2024年 10月 25日

所在地 甲府市大里町 1624-10

企業名 Yozo Vineyards

代表者 伊藤 誉三

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

デジタル技術や AI を利用して生産効率を高め、持続可能な運営を実現する。先進的農業技術を使用してブドウ畑の効率を最大化し、資源の無駄を減らす。従業員に対して公正な労働条件を提供し、適切な賃金や福利厚生を保障する。また、持続可能な経営に対する教育やトレーニングを実施し、働きがいのある職場を創出。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日:	(進捗率)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	サプライヤー、地域コミュニティ、顧客などのステークホルダーと協力して、持続可能な経営目標を共有し、達成に向けた活動を展開する。	サプライヤー、地域コミュニティ、顧客との KPI の設定と共有 現在: 0 → 2030 年: 3 つの KPI の共有		0 %
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	地元の雇用を生み出し、地域の農家やサプライヤーとの協力を通じて、地域経済を活性化する。	① 2 拠点可能人材の発掘、② 新規就農者数 (10 名) 現在: ① 5 名 & ② 1 名 → 2030 年: ① 50 名 & ② 10 名		10 %
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ブドウ栽培やワイン製造プロセスでは大量の水を使用します。節水技術を導入し、雨水やリサイクル水の活用を推進することで水資源を保護。	① 水資源の利用量と② 削減プロセスの確立 現在: ① 不明、② 0 → 2030 年: ① 対 2025 比 10%削減、② 3 つの削減プロセスの確立		0 %

2030 年の目指す姿

デジタル技術や AI を活用し、ワインの製造やマーケティングを革新し、データ主導の栽培や生産技術を確立し、環境負荷を減らすと同時に品質の向上を実現させ、売上を安定成長させる。地元農家や関連業者とのパートナーシップを通じて地域経済を活性化。地元の人材を積極的に雇用し、地域住民と共にイベントや教育プログラムを実施し、持続可能な農業や経営についての意識を高める。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第 3 号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件 2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。